

2016年
1月
No.207

さざなみ

〒520-2141
大津市大江6丁目23-24

さざなみネット
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)
TEL・FAX 077-545-5154



たたかいのエネルギーを結集し 労働組合の役割を果たそう

新年おめでとうございます。

戦後70年の昨年は、戦争と平和をめくり文字通り激動の1年でした。戦争法案のたたかいで何度も集会やデモ行進などに参加され、青年やママたちのみなさんのエネルギーに感動された方も多いと思います。9月19日に戦争法が強行された後も、戦争法を廃止し、立憲主義を回復しようと、自由で自発的な、戦後かってない新しいたたかいが広がっています。私たちも共にたたかっていきたいと思っています。

安倍政権は「アベノミクス」と称し、金融緩和、財政出動、成長戦略の「3本の矢」の政策に取り組んできました。にも関わらず経済の再生は実現せず、「国民総生産（GDP）600兆円」「出生率1.8」「介護離職ゼロ」の「新3本の矢」を新たな目標に持ち出しました。しかし「新3本の矢」は、どれも実現不可能だという声も早くも出ています。

暮らしと経済をよくするためには、労働者の賃金を上げる政策が必要です。非正規社員の正社員化を進め、均等待遇を実現し、中小企業への支援を強めて最低賃金1000円を即時に実施することが必要です。

今年の春闘は、戦争法廃止の国民的たたかいの高揚の中でたたかわれます。労働組合の役割が改めて見直されています。このエネルギーを、この春闘にも大きく結集しましょう。

金融の職場は人員が不足し、非正規労働者がどんどん増えています。人事制度が改定され、新営業店システムが導入され、仕事の仕方も変わりつつあります。職場は、ますます厳しくなっていますが、働きがいのある職場となるよう皆さんと共にがんばっていきましょう。



全国金融産業労働組合近畿支部滋賀分会
(さざなみネット)
分会長 浦谷 貞子

猿の親子 岩波 美智子さん 画

産など様々なご利益が伝えられている。

他にも猿の人形には家内安全や子授け、安産など様々なご利益が伝えられている。

類は、サル目（霊長類）のヒト以外の哺乳類の総称。特にニホンザルをいうこともある。猿は、昔から、山の神の化身であると言われたり、庚申信仰と結びついたりしたため、庶民の信仰を集め、多くのお守りや、郷土玩具が作られた。

昔、馬が「財産」であると考えられていたことから馬と相性が良いとされる猿が既を守るためや、盗難よけのお守りとされていた。有名な日光東照宮の三猿も神既に飾られている。

類は、サル目（霊長類）のヒト以外の哺乳類の総称。特にニホンザルをいうこともある。

猿



申



- ① 十二支の9番目。
 - ② 方位。西から南へ30度の方角。
 - ③ 昔の時刻。今の午後4時頃。
- また、およそ午後3時から5時の間の時刻。

2016年合同旗開き

新しい流れに確信を持ち、その一員として持てる力を出し切ろう

さざなみネットは、滋賀銀行従業員組合および同・年金者部会と合同で、1月14日大津市内において、「2016年合同旗びらき」を開きました。それぞれの役員12人が、内さざなみネットからは2人が参加しました。

最初に中島滋賀従組委員長が挨拶しました。



春闘は仲間と 多いに語り奮闘したい

安倍政権の打ち出したアベノミクスの「3本の矢」は、一部の企業や富裕者層だけに恩恵をもたらし、多くの国民には消費増税や円安による負担がし寄せされている。「安保関連法」の強行採決により下がった支持率を上げるため打ち出された「新3本の矢」は、早くも効果に疑問の声が上がっている。

政策効果により、大企業は史上空前の利益を上げ、内部留保は300兆円に達している。賃上げができないはずはない。

昨年は「安保関連法」反対の大きな運動が各地で起こり、多くの国民の民意が示された。



次いで和田年金者部会部会長が挨拶しました。

日本の景気回復のためには、大企業の内部留保増大でなく、内需拡大、特に国内消費の増大が必要だ。そのために2016春闘は多くの職場の仲間と大いに語り、大いに奮闘したい。

地域住民に心底から頼られる銀行に

安倍首相は夏の参議院選挙で憲法改正のための議員数への意欲を示している。野党共闘の協議に本気で取り組む必要があり、その討議の中から職場の仲間とともにたたかう道筋が見えてくる。



地域では滋賀銀行の動きをよく見ておられる。

「預金利息がほとんどない。銀行は儲けだけを追及するのではなく、地域県民にもっと還元すること

を考えるべきだ」「スローガンのには言っているが、客へのサービス精神を忘れかけているように思える」「地域住民に心底から頼られる銀行になってほしい」「本当に困っているときに、助けてもらえるだろうか、信頼できない」などの声を聞く。

これからの闘いの道は、自分自身の労働条件、生活と権利そして命を守り、職場を守り、取引先を守る闘いへ通じる道だ。自分たちは一人ではない。年齢を問わず多くの人たちが自分の意見を自分の声で発言しかけている。私たちもその一員をして持てる力を出し切りがらぼう。

倉見年金者部会世話人の発声で乾杯の後、参加者は新しい年への決意などを、食事をしながら交流し、今年の健康と要求実現に向け奮闘することを誓い合いました。

最後に山崎さざなみネット書記長が、閉会の挨拶をしました。



現役と卒業組が力を合わせよう

昨年は組織を強化するため、いろいろ現役組合員と組合卒業組が協力してがんばった。

今年は戦争法廃止の政府に扉を開く年、安倍政権の暴走政治をやめさせる年になるよう多くの国民ががんばっている。

この流れに確信を持ち、今まで以上に、現役組合員と組合卒業組が力を合わせ、情報を集め知恵を絞って滋賀銀行の中に新しい流れをつくっていきましょう。

